

環境の現地観測のお知らせ（鳥類）

1. 経緯

平成17年6月にPI外環沿線会議で調査地域内において、オオタカの営巣に関連する情報が寄せられたことから、関係機関等から情報収集をしました。

情報収集の結果、東京都環境局にも営巣の可能性があるとの情報が寄せられていたこと等から、平成17年8月から平成18年3月にかけて追加調査を実施しました。平成18年2月下旬から1箇所で造巣行動が確認されたため、平成18年4月以降も継続して調査を実施することとしました。

なお、調査にあたっては、オオタカの営巣等に関連する情報について、地元の住民ボランティアグループ等の方々と情報交換を行っています。

2. 観測内容

環境の現地観測は、任意踏査によりオオタカの利用痕跡を確認するとともに、定点調査によりオオタカの動向を把握しました。また、平成18年2月下旬から造巣行動が確認されていた場所においては、繁殖状況調査を行いました。

3. 観測時期

観測は、平成18年4月24日から28日にかけて行いました。

4. 観測方法

観測は、目視（望遠鏡を設置等）等により行いました。

5. 観測結果

- ・オオタカの飛翔、とまり等の行動が確認されました。
- ・オオタカのものと思われる食痕が確認されました。
- ・平成18年2月下旬から造巣行動が確認されていた場所において、営巣に関する行動が確認されました。

なお、これらの営巣情報は、東京都環境局に報告しています。

また、営巣の状況については、地元の住民ボランティアグループの方々が監視活動を行っています。



樹上にとまるオオタカ



オオタカのものと思われる食痕



巣の上のオオタカ

6. 今後の予定

平成18年4月の観測の結果、オオタカの営巣に関する行動が確認されたこともあり、平成18年5月以降も目視等による観測を継続します。

なお、観測結果については、引き続き、東京外かく環状道路調査事務所ホームページで公表する予定です。

オオタカの営巣等に関連する位置情報の公表は、営巣に関連する行動を阻害する可能性があるため、控えさせていただきます。